安全にお使いいただくために

取り扱いを誤った場合、お子さまの転落等、
ケガや危険のおそれがあります。
安全に使用していただくために、必ずお守りください。

⚠ 警告

- ●検診で股関節等に異常があると診断されたお子さまには使用を中止し、お医者さまにご相談ください。
- ●使用いただけるお子さまの月齢
  - 対面抱っこ …… 首がすわってから12ヵ月（体重11.3kg）頃まで
  - 前向き抱っこ …… おすわりできる頃から12ヵ月（体重11.3kg）頃まで
  - 腰抱っこ …… おすわりできる頃から24ヵ月（体重13.5kg）頃まで
- ●安全の為に抱っこ時は必ず手を添えてご使用ください。
- ●両手を離しての抱っこはしないでください。
- ●お子さまの抱っこ以外の用途には使用しないでください。
- ●セーフティベルトは必ず装着して使用してください。
- ●使用の際は、走ったり、跳んだり、45°以上の前かがみや横曲げなどの無理な姿勢はしないでください。
- ●使用したまま車や自転車に乗らないでください。
- ●火のそばでは使用しないでください。
- ●お子さまが立ち上がったり、そり返ったり、動いて安定しない場合は使用しないでください。

⚠ 注意

- ●授乳後30分間位は使用しないでください。また、連続2時間以内のご使用としてください。
- ●テールやベルト先端の返し縫い部は、ほどいたり、切り落としたりして使用しないでください。
- ●着脱の際は、腰を低くした姿勢で行ってください。また、他の人に介添えしていただくとより安全です。
- ●お子さまを壁やドアにぶつけないように注意してください。
- ●製品を洗濯する際は、製品に付いている洗濯絵表示にしたがってください。
- ●やぶれ、ほつれ、傷等、またリングやバックルが破損した場合は使用しないでください。
- ●縫い目をほどいたり、改造したりしないでください。
- ●バックルをとめる時、はずす時は、お子さまや使用者の皮膚等をはさまないように注意してください。
- ●使用したままかがみこむときは、腰からではなくひざを折りまげてかがんでください。
- ●かがんだ時にテールを踏みつけて転倒しないように、また、車のドア、手すり、エスカレーターなどに絡まないようにしてください。

お手入れ方法

- ●色落ちすることがあります。他のものとは別に洗ってください。
  また、つけ置き洗いも避けてください。
- ●洗濯機、脱水機、乾燥機の使用はしないでください。
  バックルなどの破損につながるおそれがあります。
- ●漂白剤、蛍光剤入りの洗剤は使用しないでください。

※安全基準等により、仕様が予告なしに変わることがあります。
製品には万全を期しておりますが、
お気づきの点がございましたら下記までご連絡ください。

LUCKY ラッキー工業株式会社
〒503-2423 岐阜県揖斐郡池田町青柳83-8　TEL 0585-45-7425　SG基準認定工場第31-001号

生産物賠償責任保険（PL保険）付

ホームページアドレス http://www.lucky-baby.co.jp

08.12

スリングキャリー〈デイリー〉

取扱説明書

対面抱っこ　前向き抱っこ　腰抱っこ

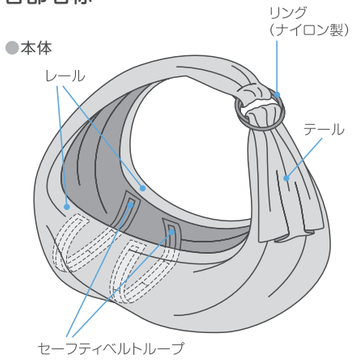
ご使用になる前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、取扱説明書は必ず保管してください。
本品を他のお客さまにお譲りになるときには、
必ず取扱説明書もあわせてお渡しください。

材料・部材は充分に選別しておりますが、主なる素材が繊維であるため、
使用頻度にもよりますがお使い始めてから約3年を耐用年数とお考えください。

ご使用方法

各部名称

●本体



●セーフティベルト

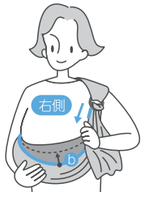
●レールの長さの調節の仕方●

テールの左側を引くと

ⓐレールのゆるみがなくなり、使用者の体にフィットします。

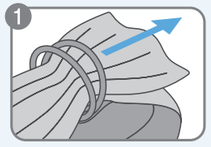
テールの右側を引くと

ⓑレールが使用者側に寄り、より密着し安定します。



1 まずはじめに

本体をリングに通します



本体の先を両端からひだを寄せ2本のリングに通します。

図のように折り返して片方のリングに通します。

たすき掛けにします

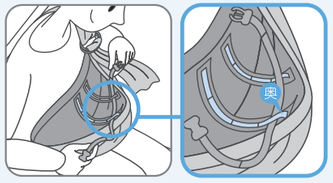
リングが鎖骨の下あたりの位置にくるようにたすき掛けにします。抱っこしたときに、お子さまが使用者のおへそより上の位置にくるように、あらかじめリングで長さを調節しておきます。

※説明図は使用者の左肩に掛けた場合です。右肩側もできます。

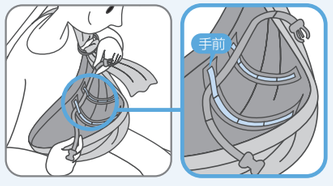
2 お子さまの月齢に合わせて抱き方を選びます。

月齢	抱き方		
首がすわってから12カ月頃まで	対面抱っこ	お互いの顔と顔が向き合うので、コミュニケーションがとれます。	
おすわりできる頃から12カ月頃まで	前向き抱っこ	赤ちゃんの視界が広がり、好奇心を満たします。	
おすわりできる頃から24カ月頃まで	腰抱っこ	おすわりができたら腰抱っこでおでかけがより楽しくなります。 本体を右肩に掛けた場合は、お子さまの頭は使用者の左手側になります。	

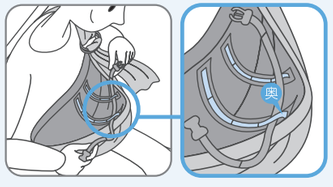
3 セーフティベルトをセットします。



セーフティベルトを図のように、使用者から見て奥にあるセーフティベルトループに通します。
※抱っこしたときお子さまと使用者は向き合う形になります。



セーフティベルトを図のように、使用者から見て手前にあるセーフティベルトループに通します。
※抱っこしたときお子さまと使用者は同じ方向を見る形になります。



セーフティベルトを図のように、使用者から見て奥にあるセーフティベルトループに通します。

4 お子さまを入れます。

お子さまを抱き上げ脚から入れ、お子さまの背中とお尻を包みこみます。脚と両うではレールから出します。
※電車等混み合った場所では、スリング本体にお子さまの手を入れていただくと安心です。

お子さまを前向きに抱き上げます。あぐらをかくように脚を交差させてお尻から入れます。
両うではレールから出します。

お子さまを抱き上げ脚から入れ、お子さまの背中とお尻を包みます。脚と両うではレールから出し、使用者をはさむようにまたがせます。
※電車等混み合った場所では、スリング本体にお子さまの手を入れていただくと安心です。

5 セーフティベルトをとめます。

セーフティベルトをお子さまの脇下から回し、長さを調節してバックルでとめます。
※お子さまとベルトの位置が合わないときは、お子さまをおろして位置を調節し直してください。

セーフティベルトをお子さまの脇下から回し、長さを調節してバックルでとめます。
※お子さまとベルトの位置が合わないときは、お子さまをおろして位置を調節し直してください。

セーフティベルトをお子さまの脇下から回し、長さを調節してバックルでとめます。
※お子さまとベルトの位置が合わないときは、お子さまをおろして位置を調節し直してください。

6 お子さまを必ず手で支えてください。

背中とお尻がしっかり包まれているかを確認してください。レールのだぶつきやお子さまと密着しない時はレールの調節をしてください。

●「レールの長さの調節の仕方」参照●

※お子さまがよく動いて安定感のない場合は使用を中止してください。

お子さまと密着するようにレールを調節してください。

●「レールの長さの調節の仕方」参照●

※お子さまがよく動いて安定感のない場合は使用を中止してください。

背中とお尻がしっかり包まれているかを確認してください。レールのだぶつきやお子さまと密着しない時はレールの調節をしてください。

●「レールの長さの調節の仕方」参照●

※お子さまがよく動いて安定感のない場合は使用を中止してください。

はずしかた

装着するときの手順を逆にして行います。はずすときも、他の人に介添えしていただくと、より安全です。